

活動センターの事業活動紹介

■環境学習や体験ができます！

環境保全活動センターでは、大人向けのかんきょう塾や子ども向けの親子かんきょう塾をメインに環境に係る学習やイベントを開催していますが、ここでは主なものを紹介します。



▲桜まつりの出店
(府中公園)



▲森キッズクラブ
(武蔵台公園)



▲打ち水日和
(ふちゅこまーけっと)



▲かんきょう塾バス研修
(江東区 スーパーエック)



▲親子エコクッキング
(給食センター)

例年開催されている活動センターの講座・イベントは、桜まつりや環境まつり等の大きなイベントへ出店し、環境啓発のパネル展示や子供向けのクラブ指導を行っています。また、春と秋に武蔵台公園と浅間山公園で子供と大人を対象に森の中で自然素材を使ったクラフトや自然観察会を開催。7月20日は大國魂神社のすもも祭りに合わせて打ち水日和を開催。けやき並木沿いを歩く方を中心に打ち水の体験、地球温暖化やヒートアイランド現象などの環境問題を考えるきっかけ作りイベントをしています。講座としては6月から12月までの半年間に連続講座を開催。ここでは廃学のほかにバスを使った現場見学なども行っています。一般の方でもわかりやすい内容です。

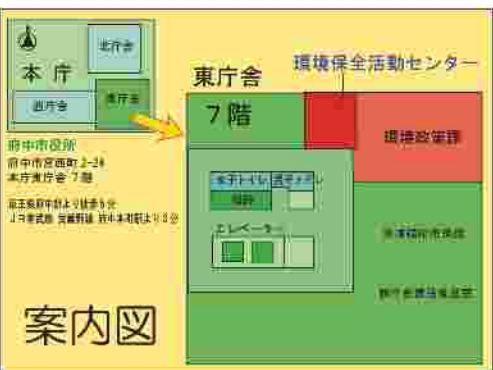
この他にも、活動センターには環境に関係した図書、DVDなどの閲覧・貸出しなども行っています。皆さんも是非お立ち寄りください。

府中市環境保全活動センター

令和2年3月30日からセンターが次の場所に移転しました。お間違えの無いように！

- 所在地 〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番地 本庁東庁舎7階
- 電話番号 042-335-4410
- 利用時間 午前9時から午後5時
- 休業日 土曜日、日曜日及び祝日、年末年始(12月29日から1月3日)

ホームページ <http://fuchu-kankyō.com/>
メールアドレス mail@fuchu-kankyō.com



編集後記

1月16日、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたから急速に感染が広がりました。4月16日全国に出された、「非常事態宣言」は、5月26日解除されたものの、何時、収束するのか不安な毎日、感染防止のため制約された生活で溜まったストレスを発散する場所に、近くの自然を基調にした公園が選ばれ、思い思いの時間をすごしていました。身も心もリフレッシュできる森林浴。森の中の清々しい爽快感を体感した人は多いと思います。その効果をもたらすのは、樹木が発散する「フィトンチッド」という化学物質です。フィトンチッドは、植物が有害な菌や細菌などの微生物や昆虫の害から自己防御のために発散するものですが、私たち人間にも、多くの恵みを与えてくれる「森林の精気」です。私たちは、その自然を保護して、自然の素晴らしさを讃歌しましょう。

(編集委員 Y・Y)

発行日 令和2年10月25日
編集・発行 府中市環境保全活動センター
広報活動部会
次回発行予定 令和3年1月



府中市 かんきょう活動センターだより

第35号

令和2年度秋号



サザンカ
【ツバキ科】
野生種は、山口県、四国、九州、沖縄の山地に自生している高さ5～10mの常緑小高木です。秋の終わりから初冬にかけて、部分的に桃色を交えた白色の5弁の花を咲かせます。現在、公園、神社・仏閣及び住宅等に植栽され、ほぼ日本全土で見られるのは、全て品種改良されたものです。品種改良されたサザンカの花の色は、赤色や白色や桃色など様々で、咲き方も一重から八重咲きまでバラエティーにとみ、多くの人に親しまれています。写真は東京農工大学構内に、日本各地から集められ植栽されたサザンカの一つです。

環境保全活動センター事業について

打ち水よろず相談所

環境保全活動センター事業として、「～府中のおもてなし～打ち水日和」を開催しておりました。毎年、7月末頃の午後3時、けやき並木沿いの広場で打ち水の実演と体験ができるイベントを行ない、多くの方に打ち水の紹介や体験してもらいますが、今年度については新型コロナウイルス感染症対策の関係で、多くの人が集まる大きな打ち水実演イベントは中止としました。しかし、打ち水の風情や江戸の知恵などを紹介するために、活動センター内に「打ち水よろず相談所」を開設して、打ち水のイロハから、打ち水をやる時のコツやポイントの紹介・相談に対応しました。また、打ち水の雰囲気を出すための木製の手桶や柄杓などの貸出しも行ないました。相談所に来られた方には打ち水柄の特製手ぬぐいハンカチをプレゼントしました。

今年、市内各所の自宅前や公園で家族や友人と楽しまれたようです。



▲相談所利用状況

かんきょう塾2020

新型コロナウイルス感染症対策の関係で、今年度のかんきょう塾2020の講座は予定が変更されました。9月は講座「府中のごみについて」、10月は観察会「多摩川の自然観察」を開催しました。11月以降は次のとおりです。

- ・11月14日(土)
演題「中米の生活と環境」
講師 元JOCV隊員 佐藤 維真氏
- ・12月12日(土)
演題「環境ストレスと植物」
講師 東京農工大学教授 伊豆田 猛氏
※講座終了後、受講生に参加証書等が手渡されます。
- ・令和3年1月16日(土)
演題「地球温暖化論の事例について」
講師 元常盤大学講師 表 伸一郎氏

◎ご希望の方は参加できます。時間、会場等はいづれも次のとおりです。
時間：午後1時～3時(予定)
受講料：無料
会場：府中駅北第2庁舎3階 会議室
参加：当日、直接会場へ
※新型コロナウイルス予防対策にご協力ください

ふちゅこまからのメッセージ
マスク、手洗い、うがい、消毒、そして三密にならない！これをみんなでするこま！

活動センター事業参加者の感想

かんきょう塾に参加して

(2017年受講生 吉武考三郎氏 寄稿)

私が「かんきょう塾」を知ったのは、3年前の2017年である。当初は興味を持った講義を聞くだけにしようかと思っていたが、実際にグループ活動にも参加したところ、思いのほか楽しいものになった。その理由は、やはり参加者の人柄だったように思う。これまでのサラリーマン生活では絶対味わえない、自分よりも相当年長の方々との気の置けない活動が、お酒も含めてのお付き合いとなり、実に楽しかったのである。

恥ずかしながら60歳台前半だった小生が一番の若手で、お姉さまたちからは「お見さん!」と呼ばれるありさまだったことから、もちろん幹事役は担当させてもらった。

さて、2017年度は、サポーターのアドバイスもあり「府中市の公園を考える」というテーマを設定し、そこから何か提言しようということに決まった。まずは、公園の基本実態を知ろうということで、インターネットや市の資料等で市内の公園をリストアップしたところ、300を超す公園が存在するということが分かった。そこで、メンバー7名に自宅に近い公園を割り振り、各種設備の現況や雰囲気などを実地で調べ、それを事前に準備した調査項目表に記入してもらおうということから始めた。

夏の暑い盛りにも拘わらず、皆さん積極的に調査活動をこなしてくださり、7割程度の公園を踏査することができたが、市民の日で実際に見て、チェックした公園実態は、貴重なものだった。途中、公園緑地課の方々のお話を聞く機会にも恵まれ、行政の立場からの苦労話などを聞いたことも役立った。最後の発表会では、パワーポイントを駆使して、各自説明したものの、慣れぬ発表で全体時間が全く足らずに、少し不完全燃焼気味ではあったが、皆さん達成感を持つことはできたと思う。後日譚としては、サポーターからのアドバイスもあり、この成果を取りまとめ、東京都公園協会の主宰する「公園協

会賞」に応募したところ、なんと2番目の賞である「優秀賞」を頂戴したことは、よい思い出になった。大きな賞状と金一封5万円を頂戴したが、この副賞は、その後の受賞祝賀会できれいに散財してしまい、これも楽しいひと時であった。後に受賞記念として、投稿文が公園協会の季刊誌23号(2018年12月号)に掲載されたことは、わがCグループの誇りにもなっている。

その後、2018年度、2019年度と三回連続参加したが、テーマは「府中市の水道事情」「府中市の古道について」で、それぞれ実地踏査をしながら、現物・現場を目で見て現状をまとめ、何かしらの提言を行うという方向で進めた。この2回とも元気溢れる年長者の方々の行動力に驚かされたものである。特に水道事情では、浅間町の山野さん(当時86歳)が積極的に調査対象の事前チェックやヒアリング設定をしてくださるなど大活躍で、追いかけるのが精いっぱいといったありさまだった。この「府中市の水道事情」については、後日生涯学習センターでの悠学会講座「府中の魅力発見講座『私たちの暮らしと水』水が語る府中」(2019年11月開催)の中で、山野さんと二人で発表の機会を与えられた。

このように「かんきょう塾」でのまとめを別の場所でも披露できたことは、せっかくのグループ活動の成果を埋もれさせるのではなく、広く活用する観点からもやりがいのあるものであり、ぜひこのような傾向が続けばいいと思っている。



▲ グループ発表を行う吉武氏
(かんきょう塾 2019年度)

事務局から

毎年、かんきょう塾では講演会の後にグループで環境をテーマにいろいろなことを調べたり話し合ったりするグループワークを行っています。その成果はかんきょう塾最終日にグループ発表を行います。この吉武さんの参加したCグループも同様にみんなで調べたことをまとめたもので、グループ発表後に、東京都公園協会に応募されたそうです。



▲ 賞状と賞金

活動センター登録団体施設紹介



がすてなーに ガスの科学館

【がすてなーにとは...】

「がすてなーに ガスの科学館」は、暮らしを支えるエネルギーの特長や、これからの暮らし・社会、SDGsや地球温暖化などの社会の課題について、体験しながら考え、楽しみながら学ぶ施設です。



【テーマ】

「エネルギーを考え、これからの暮らし・社会を学び、未来をソウゾウしよう。」



【想い】

「自ら気づき、考え、理解し、行動すること」

がすてなーに ガスの科学館では、五感を使った体験による学びは、知識を得るための学びと合わせ、自ら気づき、考え、理解し、行動すること、さらには持続可能な社会の実現につながっていくものと考えています。

当館では、身体を使って楽しめる体験型展示物もあり誰もが楽しんでいただける施設となるよう、障がいをお持ちの方をはじめ、有識者の方等との対話を通して、ユニバーサルに配慮した施設となっております。



【開館時間のご案内】

○所在地：〒135-0061 東京都江東区豊洲6-1-1

○電話：03-3534-1111

○開館時間：10:30～17:00(入館は16:30まで) ※入館料無料

○休館日：原則、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始・施設点検日

【入館に際してご協力をお願い】

○必ずマスクの着用をお願いいたします。

○出入口に手指消毒液を設置しておりますので、手指の消毒にご協力ください。

○非接触型体温計による検温をお願いしております。

(検温時に37.5℃以上の発熱のある方は、ご入館いただけません。)

新型コロナウイルス感染予防対策としてご理解とご協力をお願いいたします。

プログラムの内容、開催日、新型コロナウイルス感染予防対策については、ホームページをご覧ください。
<https://www.gas-kagakukan.com/>